大阪救急　原稿ご寄稿のお願い

「大阪救急」に掲載する原稿を募集します。下記を参考に投稿してください！

◇ 次号の発刊：令和９年２月予定。

◇ 応募対象者：救急病院・診療所等の医療従事者（医師・看護師・事務職等）

◇ 原 稿 内 容：① 救急医療に関する研究論文・研究報告・調査報告・参考資料・海外論文の紹介等
② 医事論文　救急医療に関する事務処理の事例・分析データ等
③ 救急医療に従事して体験したこと
④ その他、日常生活での出来事など

◇ 応 募 様 式：❶ 上記 ①・② は、字数及び枚数の制限はありませんが、必ず「参考文献」を記載して下さい。
❷ 上記 ③・④ は、PC の Word で 1,000 字程度（写真、データ等は含まない）を目安にして下さい。

◇ 注 意 事 項：原稿①・②は、法人名・病院名・氏名は必ず明記して下さい。
原稿③・④は、ペンネームでも結構です。
（但し、投稿の際には本名を書き添えて下さい。）

◇ 応 募 方 法：電子メールに原稿ファイルを添付の上、件名に「大阪救急　原稿」とし、下記のアドレスへ送信して下さい。

info @ oel . or . jp

※郵送の場合は、原稿ファイルを CD-ROM 又は USB に保存し、紙原稿と共にお送り下さい。

◇ 原稿の別刷：有料（希望者の負担）となります。基本部数は 30 部以上です。
お見積り等詳細は事務局へお問い合わせ下さい。

下記の点は、予めご了承下さい！

◆ 原稿は、返却致しません。

◆ 編集委員会にて、原稿のタイトル及び内容の一部を修・補正する場合があります。

Presented by Medical*Online

【論文執筆規程】

1. 固有名詞以外は出来る限り「日本語」でお願いします。
   和訳が困難な場合は、カタカナで表記して下さい。
   ≪例：baloon catheter → バルーンカテーテル≫
2. 一般化された略語を除き、略語使用の際は文中の最初の箇所でフルスペルを記載し、可能ならば和訳も付けて下さい。
   ≪例：腎血管筋脂肪腫（Renal angiomyolipoma, 以下 RAML）≫
3. 商品名には右肩に®マークを付けて下さい。また、出来るだけ一般名と併記して下さい。 ≪例：セラミック（バイオクリーム®）≫
4. 患者情報を掲載する場合、月日及び他の医療機関名等は「個人情報保護」のため記載しないで下さい。
5. 文中は「,」「.」を使用せず、句読点（「、」「。」）を使用して下さい。
6. 文中に図表番号を示す場合は、括弧を付けて下さい。
   ≪例：(表 1)、(図 1) ≫
7. 図表を掲載する場合は、図の下に番号と説明文、表は上に番号と説明文を記載して下さい。

   例：

   図 1　血液の～

   表 1　血液の～

   

8. 参考文献の記述は下記の様式に倣って下さい。

   A：雑誌の場合

   著者名（3 名以内）：題名，雑誌名；発刊年,号（巻）：始頁-終頁

   著者が 3 名以上の場合は、3 名記述後に ほか、et al をつけて以下省略

   ≪例≫＊奥村禎三、坪井声示、牧山友三郎ほか：(バイオクリーム®) の頭蓋形成術の応用性について， 脳神経外科；1984,12：240-252

   ＊Willkinson SP, Dabis MH, Portman B, et al：Renal failure in otherwise Uncomplicated acute viral hepatitis, Br Med J；1978, 2：338-341

   B：単行本の場合

   著者名（3 名以内）：章名，書名．編者名．出版社名，地名；発刊年：始頁-終頁

   ≪例≫＊西村清司：救急に必要な検査，救急治療の実際．梅山 馨，藤森 頁編．世界保健通信社，大阪；1978：586-607

   ＊Hasley MW, Eger EI II, Kent DW, et al：High pressure studies of Anesthesia, Progress in Anesthesiology. Volume 1. Edited by BR Fink Raven Press, New York；1975：353-362

Presented by Medical*Online